

日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1997年(平成9年)

11月20日

第2号

〒113 東京都文京区湯島1-4-25 斯文会館 電話 03-3251-4606

FAX 03-3251-4853

第49回大会を終えて

理事長 戸川 芳郎

本学会第49回学術大会は、大阪市立大学において、10月18日19日の二日間にわたって開催され、好天に恵まれ、参加者も600名近くにのぼり、盛会裡に日程を終了しました。広い杉本キャンパス内の、宏壮な学情センタービルと音響効果の基礎教育棟との配置から、とくに会場/進行等の担当の方々にご苦勞をおかけしました。三浦國雄代表はじめ準備会の皆様に心から感謝いたします。

今期のわが学会は、明年の創立五十年記念事業を完遂すること、制度疲労に罹った学会機構を抜本的に見直すこと、の任務が与えられています。

大会総会においても、この両者の概略と必要を説明し、とくに「五十年記念募金」を御願いすることといたしました。ともども会員各位のご協力を仰ぐ次第であります。

現在進めております五十年記念事業(委員長 佐藤保理事)は、明年の学術大会を記念大会と定めて、

○記念大会

平成10年10月10日(土)、11日(日) 早稲田大学

記念講演 裘錫圭氏(中国) シペール氏(フランス)

記念祝賀パーティー

学術発表(会員)

代表委員 福井文雅評議員 松浦友久評議員

○『日本中国学会 創立五十年記念論文集』刊行(80篇収載予定)

代表委員 丸尾常喜理事 内山俊彦会員

○『日本中国学会五十年史』発刊

代表委員 興膳 宏理事

○「日本中国学会概要」(学会案内)配布

代表委員 竹田 晃理事

のとおり、各担当委員により、周到に準備中であります。このたび、「募金のお願い」にお報せしましたとおり、現段階での資金不足を補うべく、目標を500万円に据えて、お願いいたす次第であります。

また、学会機構を見直す改革委員会(委員長 石川忠久評議員)において策定中の「学会改革案」は、加地伸行・池田知久両委員の奔走で、大会での評議員会(10月18日)に審議が付託され、その方針について概ね了承を得、明年3月までに成案を準備することとなりました。その「改革案」の骨子は、

○本部事務局の会務集中の負担を軽減するため、役員数を大幅に増やし、各種委員会に配置し分担する。

○役員を選出には、地区制を廃止し、選挙制・委嘱制を併用する。

○学会費を見直す。

以上の事がらにつき、会員各位からのご意見をいただきたく、学会事務局（東京・斯文会館）あて、書面をもってお寄せいただければ幸いです。

彙 報

10月18日の総会における決定事項及び諸報告事項は次の通り。

【議決事項】

(1)平成9年度事業計画は承認されました。

(2)次年度の大会開催校は、早稲田大学に（10月10日（土）・10月11日（日）の開催予定）決定しました。

【諸報告及び関連事項】

(1)平成9年度の選挙管理委員は、次の各氏に委嘱されました。（*は重任）

（理事） 竹田 晃

（評議員） 高橋 均・望月真澄（委員長）

（一般会員） 岩本憲司・江上幸子・*河内利治・佐藤正光・*中林史朗

(2)『学会報』第50集の編集担当校は、京都大学（責任者は興膳宏会員）に委嘱されました。

第50集の〈学会消息〉欄の原稿は、記入責任者から京都大学文学部中国文学研究室（〒606 京都市左京区吉田本町）宛にお送りください。資料は平成9年1月から12月までのものとします。

『学会報』第50集の〈学会展望〉執筆担当校は以下の通りです。

哲 学 二松学舎大学文学部・代表：戸川芳郎会員

（〒102 東京都千代田区三番町6-16）

文 学 桜美林大学文学部中国語中国文学研究室・代表：山崎純一会員

（〒194-02 町田市常盤町3758）

語 学 東京都立大学人文学部中国文学研究室・代表：佐藤進会員

（〒192-03 八王子市南大沢1-1）

著書及び論文抜刷などの資料を平成10年1月末日までに上記各研究室宛お送り下さい。収載資料は平成9年1月から12月までのものとします。

〈学会展望〉につきましては、資料現物の送付とは別に、会員各自同封の用紙（二種類あり）により自己申告していただくことになっております。申告なさる方は、用紙に記入の上、同封の封筒を利用して平成10年1月末日までにご返送下さい。郵送費は各自ご負担願います。なお、申告が無い場合は、収載漏れとなることがありますのでご注意ください。また、研究論文目録として掲載不適当と思われるものは、執筆担当校の判断で割愛されることもあります。

(3)『学会報』の掲載論文公募について

締切日 平成10年1月31日（当日消印有効）

枚 数 本文・注・図版等あわせて400字詰原稿用紙55枚以内

要 旨 400字詰原稿用紙5枚以内を添付する。

応募者は『日本中国学会報』巻末の〈論文執筆要領〉を遵守して下さい。（原稿は必ず郵送のこと。本部持込みは受理しません。）尚、投稿原稿は返却致しません。

(4)本年度の日本中国学会賞は、以下の会員が授賞されました。

哲学部門 井川義次会員（東京学芸大）

文学部門 銭 鷗会員（同志社大）

理事長より賞状と賞金（8万円）が贈られました。

(5)下記の日程で日本学術会議哲学系公開シンポジウム「いのち」が開催されます。当学会から林克会員が推薦され、提題者として講演されます。奮ってご参加ください。

日時 平成9年12月9日（火）午後1時～5時

会場 日本学術会議大会議室（東京都港区六本木7-22-34 Tel.03-3403-6291）

(6)下記の日程で日本学術会議語学文学研連主催シンポジウム「言葉と文化—少数民族の言語と文化」が開催されます。奮ってご参加ください。

日時 平成10年2月6日（金）午後1時～5時

会場 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34 Tel.03-3403-6291）

訃 報

昨年度会報第2号発行以後、次の8名の会員が逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

穴澤辰雄（東北） 市川安司（関東） 沼尻正隆（関東） 山室三良（関東）

千原勝美（中部） 横山伊勢雄（中部） 井上豊（近畿） 小林清市（中四国）

◎会費納入について

会費未納の方には振込用紙を同封致しますので、至急ご送金願います。なお数年にわたって未納の方は特にご注意願います。（振込：00160-9-89927）

◎会員資格の停止等について

会費未納が2年に達した方には『学会報』の送付をいたしません。会費納入が確認され次第、配布いたしますので、納入の際には通信欄に未送付の『学会報』の号数をご記入下さい。

なお4年にわたって滞納されますと、会員資格が停止されます。

◎新入会の申し込みについて

次回の新入会の審査は、平成10年度第1回理事会（5月開催）において行われます。入会申込書は平成10年4月末日までにご送付下さい。

◎住所変更について

住所・所属機関等の変更は、すみやかにご通知ください。特に所属の変更は、地区の移動を伴うことがありますので、ご注意願います。また、大学院等所属の明記にご協力ください。留学される場合は、予定期間と併せて国内連絡先をお知らせください。（通知は書面にてお願い致します。）

○下記の住所不明者について、ご存知の方があれば、お手数でもご一報願います。

（東北）井上 浩一 細川 一敏（関東）奥田 美智子 巖 明 洪 景植 馬淵 昌也 宮本 徹
吉富 透（中部）王 碩（近畿）石井 望（中四国）川島 優子 山吹 誠（九州）明木 茂夫
遠藤 光代（国外）李 章佑

◎平成9年度文部省科学研究費採択状況一覧)

基盤研究(A) 一般(継続)

- 中洲三島毅の学問・思想・文芸と生涯に関する研究(270冊) 戸川芳郎(二松学舎大学)
中国における文学史観の形成と展開(310冊) 川合康三(京都大学)

基盤研究(B) 一般(新規)

- 近代中国思想における西洋思想諸概念の受容に関する総合的研究(510冊)
有田和夫(東洋大学)
伊藤仁斎・東涯の諸稿本に関する総合研究(170冊) 土田健次郎(早稲田大学)
四川省成都盆地における巴蜀文化の研究(320冊) 工藤元男(早稲田大学)

基盤研究(B) 一般(継続)

- 黄宗羲の『明儒学案』成立に関する基礎的研究(70冊) 柴田 篤(九州大学)
薩摩藩所蔵の漢籍に関する総合的研究(40冊) 東 英寿(鹿児島大学)
道教内丹学の形成と展開についての語彙および図像論的研究(80冊) 蜂屋邦夫(東京大学)
中国現代文学の多元的展開と地域的特質に関する研究(100冊) 岡田英樹(立命館大学)

基盤研究(C) 一般(新規)

- 明清時期における女性史関連資料及び女性教導資料についての基礎的研究(120冊)
下見隆雄(広島大学)
春秋正義の基礎的研究(70冊) 野間文史(広島大学)
古代中国における五感星と政治的予言の研究—科学としての天文学と社会思想史との接点
(110冊) 串田久治(愛媛大学)
明治期における「東洋哲学」研究について(120冊) 大島 晃(上智大学)
近代中国における子ども観の社会史的考察:子ども・家族・社会(60冊)
湯山トミ子(成蹊大学)
朝鮮版『文選』の総合的研究(90冊) 磯部 彰(東北大学)
「民間」芸術の再生を中心とした中国前衛芸術の研究(100冊) 牧 陽一(埼玉大学)
戦前期台湾作家の東京留学体験に関する系譜的研究(80冊) 藤井省三(東京大学)
中国語のディスコースに関する基礎的研究(100冊) 今井敬子(静岡大学)
中国女性文学に関する研究(70冊) 西村富美子(三重大学)
「文革期文学」の基礎的研究(100冊) 岩佐晶暉(九州大学)
中国訓詁学関係論文目録と重要文献解説集の作成(15冊) 福満正博(明治大学)
近代中国年芸能に関する基礎的研究(180冊) 岡崎由美(早稲田大学)
中国煙粉小説の受容に見る情愛観の比較研究(120冊) 磯部祐子(高岡短期大学)

基盤研究(C) 一般(継続)

- 雲笈七籤の基礎的研究(50冊) 中嶋隆蔵(東北大学)
墨家と孟子の交渉についての思想史的研究(40冊) 吉永慎二郎(秋田大学)
1860年代中国の西洋認識と斌椿使節団に関する研究(50冊) 手代木有兒(福島大学)
啖助・趙匡・陸淳らを中心とする唐代春秋学の基礎的研究(70冊)
齋木哲郎(鳴門教育大学)
朝鮮王朝最後の葬喪礼教化史(50冊) 古田博司(筑波大学)
漢字法音法「反切」の実際的研究(30冊) 花登正宏(東北大学)

漢訳仏典に見られる口語の研究 (60冊)	長尾光之 (福島大学)
唐代文学の研究—特に詞の源流に関して— (30冊)	戸倉英美 (東京大学)
十九世紀ヨーロッパに於ける中国文学の受容 (40冊)	市川桃子 (明海大学)
近代中国における「国語」問題 (60冊)	村田雄二郎 (東京大学)
初期の楽府と楽府詩 (50冊)	釜谷武志 (神戸大学)
「長恨歌」からの『長生殿』に至る楊貴妃故事の演変史研究 (40冊)	竹村則行 (九州大学)

萌芽的研究 (新規)

中国伝統文化において経学的歴史観の果たした文化統合的役割についての研究 (160冊)	関口 順 (埼玉大学)
--	-------------

萌芽的研究 (継続)

中国近世の日用類書に関する初歩的準備的研究 (50冊)	坂出祥伸 (関西大学)
-----------------------------	-------------

奨励研究 (A)

前漢における儒教の国教化と『論語』の伝承・解釈に関する研究 (80冊)	舛 和 順 (北海道大学)
日本の近世における老荘思想の受容と展開に関する研究 (100冊)	大野 出 (帯広大谷短期大学)
宋代における「公共教育」に関する研究 (150冊)	名畑嘉則 (藤女子大学)
五四時期の副刊 (新聞芸欄) に関する社会文化史的研究—『京報副刊』を中心に— (140冊)	清水賢太郎 (北海道大学)
清末民初の言語変革に関する文体論的研究 (130冊)	中里見 敬 (東北大学)
「香港文学」の整理とその位置付けのための基礎的研究 (130冊)	西野由希子 (茨城大学)
閩語莆仙方言訳『旧新約全書興化平話』 (1912年) の基礎的研究 (140冊)	秋谷裕幸 (愛媛大学)
西番訳語の言語地理学的分析 (140冊)	池田 巧 (立教大学)

研究成果公開促進費

学術定期刊行物	日本中国学会報 (49冊)	
一般学術書	淮南子の政治思想 (50冊)	有馬卓也 (徳島大学)
	章学誠の知識論 (170冊)	山口久和 (大阪市立大学)
	睡虎地秦簡よりみた秦代の国家と社会 (210冊)	工藤元男 (早稲田大学)
	古今韻会挙要研究 (100冊)	花登正宏 (東北大学)
	翻印金沢文庫本白氏文集 (290冊)	太田次男 (慶応義塾大学)
	中唐文学の視角 (180冊)	松本 肇 (筑波大学)
	「董解元西廂記諸宮調」研究 (60冊)	金 文京 (京都大学)
	新編清末民初小説目録 (180冊)	樽本照雄 (大阪経済大学)

日本中国学会 平成8年(1996年)度収支決算書

(単位=円)

収入の部	科目	決算	予算	比較増減	▽は減
	1. 前年度繰越		1,122,824	1,122,824	
2. 会員会費		9,954,000	9,300,000		654,000
3. 文部省刊行助成金		490,000	490,000		-
4. 寄付金		646,000	800,000		▽154,000
5. 預金利息		11,140	40,000		▽28,860
合計		12,223,964	11,752,824		471,140

支出の部	科目	決算	予算	比較増減	△は増
	1. 総務費		1,584,610	2,004,000	419,390
(1) 印刷費		316,519	450,000		133,481
(2) 通信費		702,297	750,000		47,703
(3) 交通費		59,310	60,000		690
(4) 消耗品費		52,834	200,000		147,166
(5) 庶務処理費		200,000	200,000		0
(6) 雑費		109,650	200,000		90,350
(7) 業務委託料	斯文会	144,000	144,000		0
2. 人件費		1,602,000	1,630,000	28,000	
(1) 幹事手当		780,000	780,000		0
(2) 謝金		822,000	850,000		28,000
3. 会議費		1,657,042	1,750,000	92,958	
(1) 会議費		534,248	550,000		15,752
(2) 役員旅費		1,122,794	1,200,000		77,206
4. 事業費		5,641,738	5,500,000	△141,738	
(1) 学会報等刊行費		4,741,738	4,600,000		△141,738
イ 印刷費		3,377,370	3,200,000		△177,370
ロ 編集費		750,000	750,000		0
ハ 翻訳謝金		150,000	150,000		0
ニ 発送費		464,368	500,000		35,632
(2) 学術大会運営費		600,000	600,000		0
(3) 委員会等運営費		300,000	300,000		0
5. 予備費		-	368,824		-
6. 創立記念事業積立金		500,000	500,000		-
7. 次年度繰越金		1,238,574	-		-
合計		12,223,964	11,752,824		-

特別会計

学会基金

基本金		5,300,000	基本金		5,300,000	備考	
収入の部	前年度繰越金	670,816	支出の部	日本中国学会賞	160,000		奥野基金 500,000
	普通預金利息	44,572		次年度繰越金	555,388		佐藤基金 200,000
	信託収益金	0					池田基金 300,000
合計	715,388		合計	715,388	伊藤基金 300,000		
						積立基金 4,000,000	

創立五十年記念事業積立金

平成7年度迄	3,500,000
平成8年度積立金	500,000
合計	4,000,000

上記の通り相違ないことを認めます。

平成9年4月19日

日本中国学会監事

内山知也

中野達

印省略

日本中国学会 平成9年(1997年)度収支予算

(単位=円)

収入の部	科目	予算	前年度決算	摘要
	1. 前年度繰越	1,238,574	1,122,824	会費滞納者を含む1,730人納入見込み
	2. 会員会費	9,300,000	9,954,000	
	3. 文部省刊行助成金	490,000	490,000	
	4. 寄付金	640,000	646,000	
	5. 預金利息	10,000	11,140	
	6. 基金解約	1,000,000	0	
	合計	12,678,574	12,223,964	

支出の部	科目	予算	前年度決算	摘要
	1. 総務費	2,204,000	1,584,610	コンピュータ購入代金を含む 斯文会
	(1)印刷費	450,000	316,519	
	(2)通信費	750,000	702,297	
	(3)交通費	60,000	59,310	
	(4)消耗品費	450,000	52,834	
	(5)庶務処理費	200,000	200,000	
	(6)雑費	150,000	109,650	
	(7)業務委託料	144,000	144,000	
	2. 人件費	1,580,000	1,602,000	30,000/月 + 慰労金
	(1)幹事手当	780,000	780,000	
	(2)謝金	800,000	822,000	
	3. 会議費	1,750,000	1,657,042	
	(1)会議費	550,000	534,248	
	(2)役員旅費	1,200,000	1,122,794	
	4. 事業費	5,800,000	5,641,738	
	(1)学会報等刊行費	4,900,000	4,741,738	
	イ印刷費	3,500,000	3,377,370	
	ロ編集費	750,000	750,000	
	ハ翻訳謝金	150,000	150,000	
	ニ発送費	500,000	464,368	
	(2)学術大会運営費	600,000	600,000	
	(3)委員会等運営費	300,000	300,000	
	5. 予備費	844,574	-	
	6. 創立記念事業積立金	500,000	500,000	
	7. 次年度繰越金	-	1,238,574	
	合計	12,678,574	12,223,964	

特別会計

学会基金

収入の部	基本金	4,300,000	支出の部	基本金	4,300,000	備考
	前年度繰越金	555,388	日本中国学会賞 次年度繰越金	160,000	奥野基金 500,000 佐藤基金 200,000 池田基金 300,000 伊藤基金 300,000	
	普通預金利息	35,000		430,388		
	信託収益金					
	合計	590,388	合計	590,388	積立基金 3,000,000	

創立五十年記念事業積立金

平成8年度迄	4,000,000	
平成9年度積立金	500,000	
合計	4,500,000	